

お願い

この説明書は実際にご使用になられる方のお手元にも必ず届くようお取り計らいください。

耐圧防爆形ベル取扱説明書

BX-15※

このたび坂本電機製耐圧防爆形ベルをご採用いただきありがとうございます。
この説明書は、ベルの取扱い、保守について述べたものですから、ご使用前にご熟読の上、据えつけ、保守、点検などに正しくご活用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

(株)坂本電機製作所

本社・和白工場 〒811-0202 福岡市東区和白3丁目27-55
TEL:(092)606-2731 FAX:(092)608-1984

津屋崎工場・器具営業 〒811-3304 福津市津屋崎7丁目23-40
TEL:(0940)72-4193 FAX:(0940)72-4197

大阪営業所 〒536-0022 大阪市城東区永田4丁目15-24
TEL:(06)6961-0084 FAX:(06)6961-0085

1、ご購入時の点検について

ご注文通りの製品が届きましたか。輸送中の振動、事故等で破損していないかご確認ください。

(1) 輸送中に破損したところはないか。

外装、ゴング等に損傷ないかご確認ください。

(2) ご注文通りの製品かどうか。

銘板に表記された形式、定格がご注文通りかご確認ください。

万一、不具合などがありましたらご購入先、若しくは弊社窓口にご連絡ください。

2、ご使用される周囲環境について

本機器は下記の周囲環境条件でご使用になれます(特にご指定のある機器については、納入時の最終仕様図に記載されています)。

(1) 温度：-10～+40℃、但し氷結がないこと。

(2) 相対湿度：85%以下、但し結露がないこと。

(3) 腐食性雰囲気のある場所ではご使用になれません。

(4) 本機器は、1種場所・2種場所の爆発性雰囲気で使用することができます。

※1種場所：爆発性雰囲気が正常状態で生成することがある場所。

2種場所：爆発性雰囲気が正常状態で生成することはなく、たとえ生成しても短時間しか存在しない場所。

3、据付について

据付が悪いと、正常に動作せず機器が破損する場合があります。次の点にご注意ください。

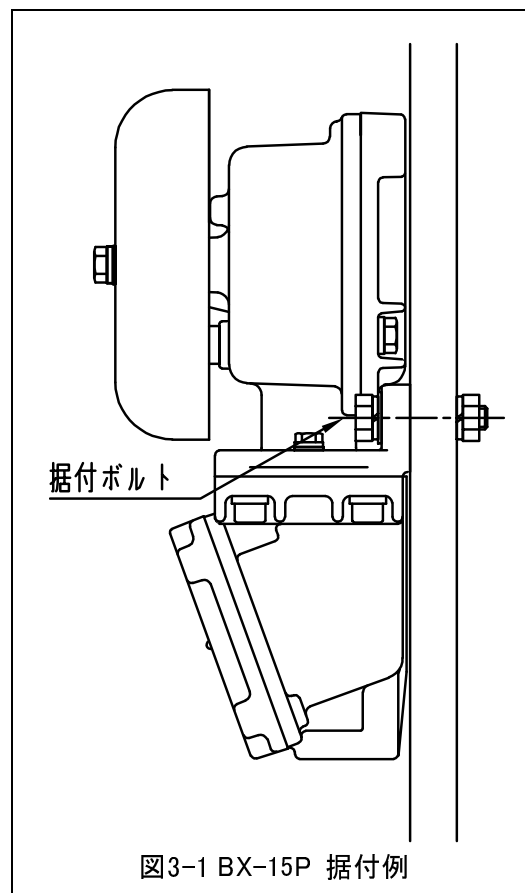
(1) 強固で平坦な面に取付けてください。

(2) 取付ねじは2本のM10ボルト(供給外)及びバネ座金などで緩み止め施した上で締め付けてください。

(3) 取扱いはできるだけ慎重に行ってください。僅かな変形で鳴動不良を発生する場合があります。また本機器の外装結合部は全て防爆面にて防爆性を保持しております。不要な分解は避けてください。もし間違えてゴングを外した場合は、位置決め用のスプリングピンとゴングの穴を合わせて取付けてください。

(4) 据付け場所が浸水や塵埃の浸入の恐れがある場合、据付け途中若しくは以前に放置することは避けてください。正常な取り付け状態及びケーブル引込み状態で保護構造機能が有効です。

(5) 外線を接続する場合は産業安全研究技術指針(RIIS-TR-94-2)に準じて工事を行う必要がありますのでご注意ください。その他の取扱いについても本指針(ガス防爆機器)に準ずる必要がありますのでご注意ください。



4、配線について

- (1) 端子箱カバーを外し端子箱内の端子台にケーブルを接続します。端子(M4)への接続は絶縁スリーブ付き圧着端子を使用するか、裸圧着端子をご使用の場合は圧着部を絶縁チューブで保護してください。
- (2) 電源から遠い距離に設置される場合、電圧降下ができるだけ少ないように配慮してください。音量が低下する場合があります。
- (3) 接地は必ず行ってください、端子箱内部のM4接地端子の利用をお勧めします。
- (4) ケーブルグランド付の場合はケーブル仕上外径とケーブルグランド内部のパッキン内径が適合することをご確認ください。グランド固定後はケーブルを引張って、抜けないことをご確認ください。
- (5) 配線工事は上記3-(5)の技術指針について熟知された方の管理下で実施してください。

5、保守点検について

- (1) 点検時期
使用頻度、使用条件、環境により点検時期は左右されますが、少なくとも1ヵ月毎に点検してください。

- (2) 点検項目と処置方法

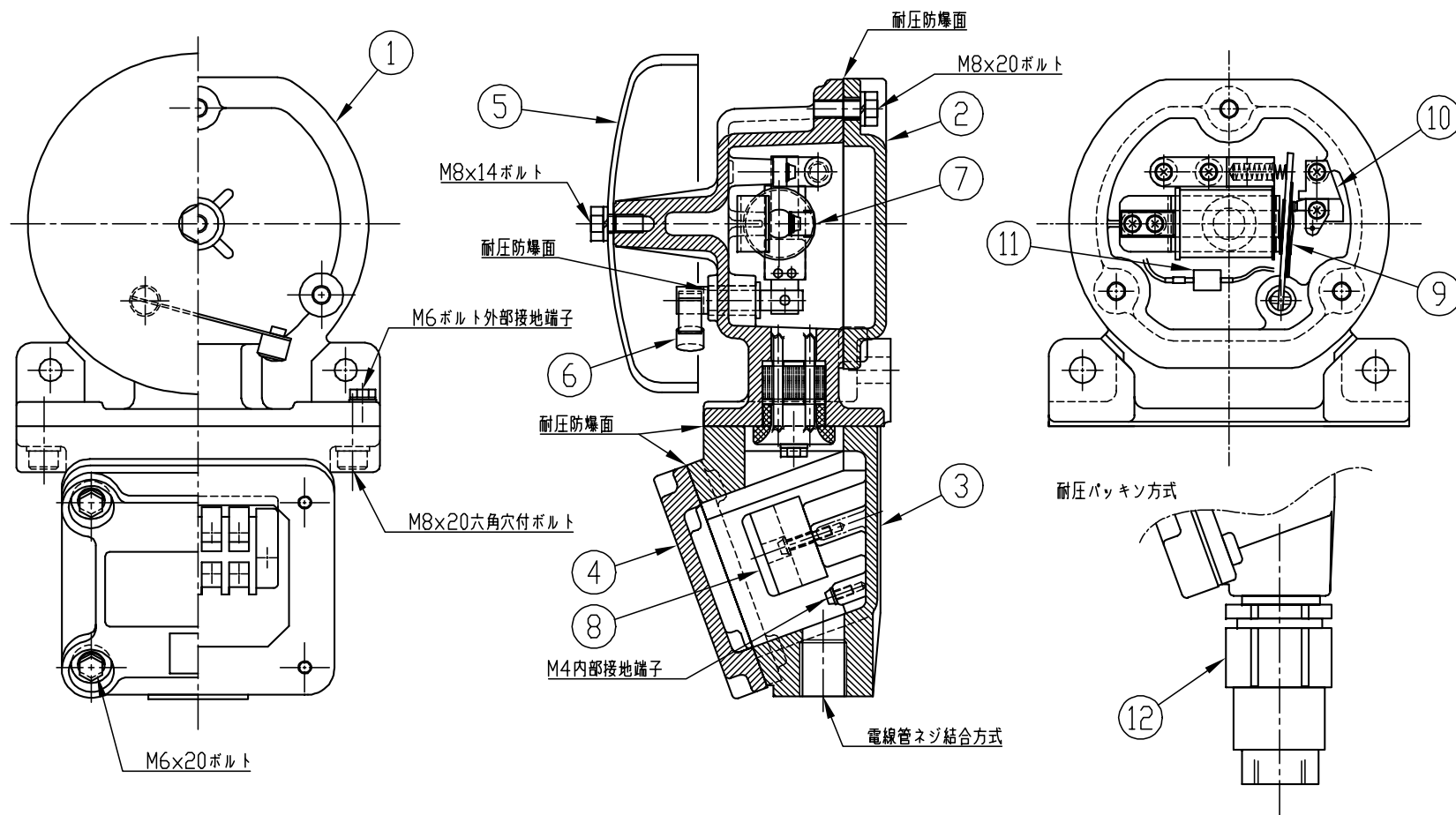
点検項目	処置方法	備考
外観の傷、凹み、曲がりの有無	使用可か否かを判定し、不可もしくは判定が困難であれば、現品を交換してください。	
塗装のはげ、錆の有無	損傷が軽ければ錆を落として補修塗りをしてください。判定が困難なら現品を交換してください。	
鳴動試験	電源との接続が確実な状態で端子箱内の端子で電圧測定してください。電圧が正常にもかかわらず鳴動しない場合、現品を交換してください。	
内部点検で浸水の有無	浸水跡が在る場合、現品を交換してください。軽傷なら乾燥させ、浸水原因を調べ対処してください。	
取付ねじ、連結部ねじ等の緩み	増締めしてください。据付ボルトが緩んだ場合はより強固な回り止めを施してください。	
引込みケーブルの損傷	損傷が在る場合、再配線してください。	
絶縁抵抗	電源端子と非充電金属部 500Vメガにて測定。ケーブルを外し10MΩ以下なら交換、もしくは結露点検を行ってください。	外線を外し対地間抵抗100MΩ以上が初期値です。
その他の使用者決定事項		

点検の注意点

- 本機器を点検する場合、機械が停止し電源が切られていることをご確認ください。
完了時、点検箇所を再確認しTカバーを取付けてください。

付図1 構造図

No.	品名	備考(手配コード)	No.	品名	備考(手配コード)
1	ケース		7	コイル	
2	カバー		8	端子台	(4PTB)
3	端子箱		9	スピンドル	
4	Tカバー		10	固定タクト	
5	鈴		11	コンデンサ	
6	打ち子		12	ケーブルグランド	



SEM